

Un Jour アンジュール



特集

講座やサークル活動の紹介

皆さんも参加してみませんか！

サークル

「チューボー男子会」

「カロリー控えめ、塩分控えめ、野菜たっぷり」がモットー



青森市の男女共同参画社会の形成を図る拠点施設

青森市男女共同参画プラザ「カダール」、青森市働く女性の家「アコール」では、男女共同参画に関する意識啓発講座やセミナーの実施、また、市民の活動スペースの提供や、団体間の連携交流を支援しているほか、人間関係などの悩み相談も実施しています。

「カダール」では3000人収容のAV多機能ホールや、80人収容の研修室の貸館も行っています。

【愛称「カダール」の意味】「カダール」は、津軽弁で仲間になるという意味の「カダレ」と、共に語り合うという意味を表現しています。

【愛称「アコール」の意味】アコール (Accord) は、フランス語で「調和」や「和音」の意味です。

～ 本日の献立 ～

- もやしだんごのきのこあんかけ
- キャベツとりんごの簡単サラダ
- 長芋ともずくのスープ

「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さであなたを大切に思う

性別を超え 世代を超え 時代を超え 人と協調し 人を信頼できる 誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして 青森はここに「男女共同参画都市」を宣言します

平成8年10月22日 青森市

十八歳からの選挙権

公職選挙法等の改正に伴い(平成28年6月19日に施行)、約240万人の有権者が新たに誕生します。

—世界の選挙権の年齢は?—

☆世界の191の国・地域のうち、約9割の国が選挙権年齢を「18歳以上」と定めています。(2014年2月国立国会図書館調べ)

—なぜ国は18歳以上に引き上げたのか?—

☆日本は少子高齢化、人口減少社会を迎え、日本の未来を作り担う存在である10代にも、より政治に参画してもらいたい。また、選挙権を持つことにより社会の担い手であるという意識を若いうちから持ち、主体的に政治に関わる若者が増えて欲しいと考えたからです。

「若者の投票率が低くなると、若者の声は政治に届きにくくなってしまいます。その結果、若者に向けた政策が実現しにくくなったり、実現するのに時間がかかる可能性があります。」(総務省HP「18歳選挙」より抜粋)

子どもの貧困問題や、女性が働き続けるための環境づくりなど、若い世代が国政に声を届けるべき身近な課題は、たくさんあるのではないのでしょうか。

デートDVってなに?

「デートDV」とは「恋人など親密な関係にある若者間の暴力」のことです。近年、高校生や大学生の恋人同士の間で暴力が頻発に起こっており、ひどい場合には事件に至るケースがあります。

デートDVは、主に次の4つに分類されます。

- ①身体的暴力：殴る、蹴る、たたく、髪を引っ張る、物を投げつける、首を絞めるなど
- ②性的暴力：性行為を強要する、避妊に協力しないなど
- ③経済的暴力：借りたお金を返さない、借金をさせるなど
- ④精神的暴力：ののしる、皮肉や嫌味を言う、友達づきあいを制限する、携帯電話などの通話履歴やメールを見る、「別れる」「自殺する」と言って脅かすなど

このような暴力を受け続けると、被害者は気分が落ち込み、「自分が悪いから」と思い込むなど精神面への影響が挙げられます。また「他の男(女)と口を聞くな」と交際範囲を制限された場合は孤立しがちになります。暴力を受けた被害者は、「絶対に逃げられない」という無力感、また「彼(彼女)の暴力癖を私が治してあげなくてはいけない」と思ったり、別れ話を持ち出しても交際相手に「もう二度としない」と謝られ、つい許してしまうということが繰り返され、段々と逃げられなくなってしまうことが少なくありません。

深刻な暴力が起きている場合は、警察への連絡が必要です。ひとりで解決しようとしなくて、必ず周囲の人や青森市配偶者暴力相談支援センターなど、専門の相談機関に相談をしましょう。

青森市内の配偶者暴力相談支援センター

① 青森市配偶者暴力相談支援センター
017-734-5318
相談受付時間 8:30~17:00(土日祝日・年末年始を除く)
・電話相談 ・面接相談(予約制)

② 青森県女性相談所 017-781-2000

③ 青森県男女共同参画センター 017-732-1022

④ 東地方福祉事務所 017-734-9951

輝きびと

「お客さまを通して教えられることが自分自身を成長させています」

スマイル&スプーンキッチンスタジオ
オーナー：高谷 優子さん

「食べものって完成形をお客さまに見てもらえるので、ダイレクトに反応が分かって楽しいんですよ」と話すのは、美術大学卒、元家具職人という高谷さん。その経歴からセンスの良さがお店作りに十分活かされています。

10年間の職人時代に、女性だからと任されたパーティ料理などを用意する「おもてなし係」。もともと料理が好きでモノ作りも好きな高谷さんは、そこに楽しさを感じ、その経験が新たな自分発見となり、今のお店を始めるきっかけとなったそうです。

高谷さんのお店では、天然だしにこだわった、素材本来の持ち味を大切にしているお料理を提供しており、「安心して食べられます」と食にこだわる妊婦さんや男性のお客さまも増え始めています。また、食の楽しさを伝える「基本の料理」や「きせつの和菓子」「男のカレー」など、男女を問わずいろいろな料理教室も企画、開催しています。

「お客さまを通して成長してきたことや、食べものが人を幸せにしてくれる時間を共有できるのが嬉しい」と話す高谷さんのおおらかな笑顔は、お店のあたたかい雰囲気そのものでした。

性的マイノリティ(LGBT)を 知っていますか

～「自分らしく」多様な生き方に理解ある社会へ～

性的マイノリティ・性的少数者と言われる

- 女性同性愛者のレズビアン (L)
- 男性同性愛者のゲイ (G)
- 両性愛者のバイセクシャル (B)
- 性同一性障害を含む心と身体の性別が一致しないトランスジェンダー (T)

それぞれの頭文字をとった「LGBT」とは、性的マイノリティと同様の意味合いで用いられています。

電通ダイバーシティラボ「LGBT調査2015」(平成27年4月実施)が、約7万人を対象に調査したところ、LGBT層に該当する人は7.6%でした。LGBTへの理解を図る機会として、近年は、LGBTをテーマにした講演会や映画祭などが増えています。

<発行>
青森市市民生活部生活安心課 男女共同参画室
〒030-8555 青森市中央1-22-5
☎ 017(734)2296 FAX 017(734)5256

<編集スタッフ>
藤野弘子・長内美子(NPO法人あおり男女共同参画をすすめる会)・堀内美穂(NPO法人ウィメンズネット青森)・西川千秋(中学生版男女共同参画啓発小冊子企画編集員)

※転載ご希望の場合はご連絡ください。

カダール

* 青森市男女共同参画プラザ「カダール」
 (青森市新町 1-3-7 アウガ 5・6F)
 【開館時間】9:00~22:00【休館日】毎月第2水曜日
 【電話】017(776)8800【FAX】017(776)8828

特集

講座やサークル活動の紹介 皆さんも参加してみませんか!

カダール・アコールでは、男女共同参画に関する意識啓発等の講座・セミナーに、多くの市民の方が参加しています。また、油絵・書道・詩吟・写真・ダンス・茶道・お菓子作りなどの、サークルや団体の活動場所として、多くの方に利用されています。お申し込み、お問い合わせはカダール・アコールまで。

アコール

* 青森市働く女性の家「アコール」(青森市勝田 1-1-2)
 【開館時間】9:00~22:00
 【休館日】毎月第2日曜日・年末年始
 【電話/FAX】017(723)1700

「プチ起業塾」&ワゴンショップ体験販売 「プチマルシェ」



女性のエンパワーメント推進のためのプチ起業の基礎を学ぶ「プチ起業塾」、より実践的な勉強会と体験販売の場の提供をする「プチマルシェ」、この2つの事業で今年度は、10人が出店しました。
 女性の活躍推進が叫ばれている中、多様な働き方のなかにプチ起業を選択した女性たちを、青森市男女共同参画プラザはこれからも応援していきます。

男性応援講座「男の生き方塾」

平成19年から開催して今年で9年目、受講した男性はなんと222名。男性が男性のための講座を企画しています。シニア世代の男性が、地域や家庭で楽しく豊かに暮らしていくための、新しい生き方について考える講座です。
 現在、5つのOB会がカダールを拠点として仲間とともに活動し交流を深めています。



1月は「カダールフェスタ」

市内の団体・グループが、日頃の活動発表、講演会、ワークショップ、展示を行います。
 AV多機能ホールでは、オープニングイベントにぎやかに開催されます。



ファッションショー

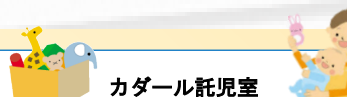
<15年連続参加団体>

- ・I女性会議青森支部
- ・青森県難聴者・中途失聴者協会青森支部
- ・いけばなサークル豊扇会
- ・企画集団ブティジュール
- ・Ken 油絵研究会
- ・ネットワークA・L
- ・NPO 法人あおもり男女共同参画をすすめる会

今年カダールフェスタ15周年記念オープニングイベントとして、～プラチナエイジプレシヤスファッションショー&15年連続参加団体表彰式～を開催。



15年連続参加団体の表彰式



カダール託児室

カダールでの催事や青森市民図書館の利用のほか、中心市街地での買い物や通院などの時にも安心して利用できる施設です。※前日までに要予約

【託児時間】9:00~21:30 (休館日を除く毎日)
 【対象】1歳6か月~就学前
 【料金】1時間600円(最長3時間)
 【問合せ】017(776)8800

女性の悩み相談 カダール相談室

自分自身の生き方や家族のことでの相談、配偶者やパートナーからの暴力の悩みなど、ひとりで悩まず、ご相談ください。女性に限らず、男性もご利用ください。

【電話】017(776)8858
 【相談受付時間】9:00~21:00 (休館日を除く毎日)
 あらかじめ相談日時を確認してください。

サークルコーナー

たくさんサークルが活動しています。皆さんも一緒に参加してみませんか。

9月は「アコールフェスタ」



各サークルの日頃の学習及び活動の成果の発表と、利用者の方々の親睦と交流を図るアコールフェスタ。
 イベントコーナーでは、詩吟・体操・社交ダンスの発表会、そのほか制作作品の販売や、軽食・喫茶コーナーもご用意。また、お茶席も設け本格的な侘(わび)と寂(さび)の世界へいざないます。



階段ギャラリー

3階までの階段の壁面を利用し、油絵・写真・書道などの作品を展示しており、1段上がるごとに小さなギャラリーを堪能できるスペース。
 あなたの作品も展示してみませんか!

働く女性の家「アコール」利用者会 会長 竹内 光子さん



子どもたちの学校のPTA研修委員を続けていました。講師を招くための予算負担が大きく「自分で講師をやれば」と、七宝焼きをアコールに習いにきたことがサークル活動を始めるきっかけとなりました。
 4年前、アコール利用者会の会長を任されることとなり、最近ではご家庭でお年寄りの世話をしながら活動する方々も増えてきていることから、お互い声をかけあい、助けあうことができる場所にしたいと思っています。
 アコールでは72サークル、828人がいきいきと楽しくサークル活動をしています!毎年9月に各サークルの作品展などでにぎわうアコールフェスタには、昨年623人の方が来館され大盛況の2日間でした。アコール事務室に立ち寄り、サークル活動を紹介した冊子『ふれあい』をご覧いただき、ぜひ私達の活動に参加してほしいと思います。

いけばなサークル「豊扇会」代表 伊藤 豊扇

生け花は美的感覚が養われると同時に暮らしの中に潤いや癒しをもたらす、心と体の健康に大きな力となる伝統文化です。そんな生け花を通じて、人と人との出会いとつながりを大切にしながら活動を続けています。

カダール事務室前に作品を展示して15年、さらなる技術の向上を目指しています。



料理サークル「チューボー男子会」副会長 山本 一雄

昨年、料理初心者を対象とした、アコールの『男性料理入門講座』に参加。そこで料理の面白さを知り、講座に参加したメンバーでサークルを作り、現在も料理のレパートリーを増やしています。「もしも、妻が倒れた時、妻のためにも料理を覚えておかなければ…」という思いやりも調味料となっています。



育児サークル「かぶか」代表 保坂 礼衣

アコールスタッフの協力のもと、育児の相談やリフレッシュできる場をと、平成26年7月に生後5ヶ月前後の赤ちゃんママのメンバー8組で設立。

メンバー同士の情報交換のほか、講師による勉強会やレクリエーション等多岐に渡る活動を行っています。「私は転勤で青森に来て知り合いもいなかったのでサークルを通し、社会と繋がりを持てたことが一番良かったです。」

